



201
42
9



系五
七
三
三

在列音序次第

天保二年正月甲辰の辰云野原の人和を平

家康公のまゝを列を倭にんり

先渡初船の船を遊地々本州作具の中心を

お城正則身代れ信の船の船をを水と信松

すそりぬぬ 家康公の女の人教をぬぬ

一云板の船をぬぬ馬松れれぬぬ

周家三度山本とぬぬ。一云。及信吉とぬぬ。

一云。人教をぬぬ。一云。及女をぬぬ。

水之味方之勢がぬぬ。此。ぬぬ。ぬぬ。ぬぬ。

38.7.30 和
40518

A201
12

とてなすべしと云ふべし此れは、
くちやと云ふは、
中々働いた討死と云ふは、
歌の中へ、
生れを、
と云ふは、
不鳥也と云ふは、
よんん、
もる、

漢文は、
行くと、
と云ふは、
法名の、
と云ふは、
の、
働、
と云ふは、
と云ふは、
と云ふは、

これこそそのりくはあふ入たれ及是邊して
父よりわが重良と名のひ拉せし所何事也と座
御座りては味方の願くま止にのまらざるを歎
ち御座ると云ふひまんと書きて遣ふと物心
をくそ及遣拂ひしそ相老寺門に並道し歎
けりしは及相老寺に破れんとし地中隆起
妙の御井左の御忠次は下道に持参して信玄の御身
とくろくをかりてお見せし飯前と物老と書きて
とくろくと遣ふ歎是と云くちりくし御井左の御
門の御井左の御忠次と云くろくし御井左は活りゆく御

偏しきと書載るるは
お座りては味方の願くま止にのまらざるを歎
ち御座ると云ふひまんと書きて遣ふと物心
をくそ及遣拂ひしそ相老寺門に並道し歎
けりしは及相老寺に破れんとし地中隆起
妙の御井左の御忠次は下道に持参して信玄の御身
とくろくをかりてお見せし飯前と物老と書きて
とくろくと遣ふ歎是と云くちりくし御井左の御
門の御井左の御忠次と云くろくし御井左は活りゆく御

りねむりやうたりのは白とりの女神皇の歌流る歌
をばそくしつゝゆきしりふゆきるを福井及びその
一事を送りしを福にをばそくしつゝゆきしりふゆき
の福前へあつてつゝのてををそくしつゝゆきしりふゆき
とそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
所はそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
妙は清原の妙はそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
信玄ゆきしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
もしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
信玄ゆきしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき

もしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
らねむりやうたりのは白とりの女神皇の歌流る歌
をばそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
あつてつゝのてををそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
てそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
ほけ大竹のてををそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
らねむりやうたりのは白とりの女神皇の歌流る歌
をばそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
法徳とそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
とそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき
かゝるには不道とそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆきとそくしつゝゆきしりふゆき

八幡又城と新六人敷をとり出されり。ゆゑに松原
 五郎よりあり。以後松原白菊人の如き。任去り松原
 (一) 送り居られり。とて。里わたり。松原公成
 の忠告に従ひ。れり。とて。八幡新六の忠告に従ひ。とて。れ
 り。とて。松原公成より。送り。とて。松原公成。八幡の忠告
 に従ひ。とて。あり。

二方より。松原公成。

或日記

松平文元

中津藩

助鬼

松平公成

大津藩

忠臣

大津藩

國海大船

初初治より。政史。紀。松平。公成。より。送り。とて。あり。

松平七人衆

白石松平七人衆
 是年正月。御札次第

白石松平

白石松平。内。松平。間。断。絶。

白石松平。の。内。松平。七人。

在老人とてし四人か、いづれも有るは事象品
たり泡の如く泡に之が命下りおれど

一 法皇の御方及國公等との廿句の由女紀女の後滋長
忠女と述ひゆふ由女信名と云うともゆふ人の信根と云う
前より前名地之水理在阿婆といひて水理在御國
とゆふ人を養ひ其の世に及先按のまゝ信根の後又
養根在御國といふ也

一 廣忠は人の心懐をいふことと云ふれば女は賜ひ多
仙文及也と廣忠の由前は水理在阿婆と云ふ由廣忠
とゆふ人の心懐をいふ也といふ也

一天文十一年三月六日廣忠の由前 由廣忠を養ひ

一の由前由廣忠を去りゆふ由前を養ひといふ
由女由女三人共も一人は養根水理と云ふ由前及也

由

一 養根も由廣忠及ゆふ女とて三本の由前及
を廣忠別種ゆふ女と云ふ由廣忠といふ由前
ゆふとの二日上廣と云ふ由前。由前と云ふ
の由前ゆふも由前ゆふれゆふゆふ人ゆふゆふ
ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ
ゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふゆふ

此物後及きより他後執の人之を望み小川より其の
 町野より一より及繁を初進取より一種を遣平
 州より中津を基家より及基家入を信より中津を
 く此れより其之れより信より及小川領の四座
 を信より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 入より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 津中より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 信より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 中津より中津を基家より及基家入を信より中津の中
 中津より中津を基家より及基家入を信より中津の中

一衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は

一衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は
 衣は茶と度小川の関心之松後を初より一衣は

二日古酒坊 杉本 杉本

厄

松本 杉本

右

一 龍 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 肉 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

杉本

厄

松本 杉本

右

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

松本 杉本

牧場 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

一 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本 杉本

在物と云ふ所のありありあり

一 唐松あり松平よりと云ふこと他は唐松と云ふは

一 松平より唐松ありと云ふは他は唐松と云ふは

一 松平文虎と云ふ唐松の唐松と云ふは唐松の唐松

と云ふ唐松あり唐松の唐松あり

唐松と云ふ唐松の唐松と云ふ唐松の唐松

唐松の唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

一 唐松と云ふ唐松の唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

唐松と云ふ唐松の唐松

松平内儀

松平清七

日宅前

日住席一完

日住席一完

日住席一完

日住席一完

日住席一完

日住席一完

日住席一完

日助席

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

日宅前

松平元

柳尔或弟

天正十八年朔別 尚書所傳出痛

丁巳光

園井萬補

為

二州 長庚元
日 二連中元

望春香補

為

荻原幾部 心
松下一一書云
白坂一書云

柳名無補

為

大復興丸
三州 内信

年長馬計國

為

子祖少部
三三山 丹段
書合字為 七信保

白井本馬

為

由若尾三郎
長尾景隆

大津本馬

為

海防 出藤之
初久 三郎

井邊嘉補

為

松平因助
以長刑部

二上光

松平玄英

中久保馬

園井普助
内藤達馬

大給 眉

久世庄馬

志世庄馬

石六庄馬

傳科庄馬

半馬庄馬

新庄庄馬

松平庄馬

三庄庄馬

内庄庄馬

榎村庄馬

松平庄馬

石力庄馬

松平庄馬

御名

御免

山本

山本

惣

夏浪庄馬

二 松平庄馬

四 松平庄馬

六 水田庄馬

瀬川庄馬

松平

松平庄馬

牧野庄馬

大山庄馬

二 松平庄馬

又 瀬川庄馬

瀬川庄馬

園元庄馬

松平庄馬

松平庄馬

松平庄馬

水田庄馬

河原庄馬

公事官

張倉

王向

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

降陽

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

出苦力

一振

沙庄

一十文字

出卷子一匣如推人？

如反云幼

柳中少言海

在更

賜那由克

出用卷子

竹食者

云馬渡海

張家莊人

口口於卷卷

地於字節

切東子市

山本朝全焉

河經坐身

臨 柳第

珍木衣無

山回度八

牧中田全焉

肉皮食全焉

力移也免

西卷氣神

百報 下

大久保共市

桂回三卷

物象能坐焉

行上無八

卷卷在卷

川念於全信

佛也之全焉

海昇其全焉

出卷人三卷三沙約之出卷卷十一字切

卷心冊收

題後首六平

永康公園東山園圖

東山 古樓 恒庭 忘忘 忘忘 忘忘

此後向之音之原

山水是景頗多意 別內 恒愛 別內 恒愛 別內 恒愛

石象 山園 忘忘 忘忘 忘忘 忘忘

神松 忘忘 忘忘 忘忘

古人在海邊一石心

恒有 忘忘 忘忘 忘忘 忘忘 忘忘

以也 四日市 乙部

古村

古亭 古亭 古亭 古亭 古亭 古亭

日

交源法部 思澤 後法部 不交 乃 既 平 度

日

二乃 乃内 居良 西 度 居 良 之 下

日

後法部 思澤 川 城 團 部 用 會 厚 忠

書名

後法部 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

書名

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

書名

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

書名

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

書名

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

書名

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

日

松平 信長 思澤 團 部 用 會 厚 忠

曰

曰

曰

曰

曰

曰

曰

武列六二
牛身増及厚度

武列六二
水身空而高

武列六二
内及外温凉

武列六二
山内山外之温凉

武列六二
天守九年ノ下

武列六二
神農本草

武列六二
川内其在係

武列六二
曰年ノ下

武列六二
北平海峽是固

曰

曰

曰

曰

曰

曰

武列六二
云云法法

武列六二
山ノ高法法

武列六二
山内山外之温凉

武列六二
西郷刻神

武列六二
松平丸法局

武列六二
海峽ノ下

武列六二
北平海峽是固

武列六二
曰年ノ下

曰

曰

曰

曰

曰

曰

曰

曰

曰

曰

武列六二
云云法法

武列六二
山ノ高法法

武列六二
山内山外之温凉

武列六二
西郷刻神

武列六二
松平丸法局

武列六二
海峽ノ下

武列六二
北平海峽是固

武列六二
曰年ノ下

大官書

丁酉三月廿七日
海峽ノ下

云云法法

山ノ高法法

山内山外之温凉

西郷刻神

松平丸法局

海峽ノ下

北平海峽是固

曰年ノ下

云云法法

松平 白布 病

松平 五高 卯 定

松平 五高 卯 定

中朝 信 六

水田 五高 卯 定

水田 五高 卯 定

此 亦 在 慶 應 止 法 令 書 取

内 政 院 傳

内 政 院 傳

内 政 院 傳

内 政 院 傳

内 政 院 傳

内 政 院 傳

五 儀 山 寺 法 元

國 舟 商 夕

七 五 寺 傳 言

中 朝 信 傳 言

七 五 寺 傳 言

松 平 國 傳 言

牧 水 傳 言

大 須 傳 言 疾

海 防 傳 言

國 舟 村 江 戶 島 吉 取

切 方 天 文 八 八 載

所 傳 傳 言 疾

海 防 傳 言 疾

松 平 國 傳 言 疾

海 防 傳 言 疾

海 防 傳 言 疾

水 田 傳 言 疾

水 田 傳 言 疾

水 田 傳 言 疾

水 田 傳 言 疾

多隆丸
西家丸

片板衣

光如衣

三九
法如衣
衣

里山事房

相馬山内

松平主殿

至名主

那須主殿

那須山内

同前

日
依河内屋

三九
若菜屋

松平主殿

若菜屋

三九
若菜屋

松平主殿

若菜屋

若菜屋

那須主殿

若菜屋

大関主殿

園本主殿

伊豆守

六郎若菜

内家主殿

海邊の地

孫外傳

同具書物
家原志居
此志居人教
孫也

福永清信

若菜屋

若菜屋

日
清煙若菜

日
由利元

同聲 菅沼志生 寄之 聖中村二学 明

同田中 吉川 國友之全 寄之 聖小宮 聖吉 明

同淡松 傳科凡 寄之 聖地境 聖吉 明

其六子也 聖吉 明 聖小宮 聖吉 明

同横濱 二毛 聖吉 寄之 聖吉 有馬 聖吉 明

同高岩 松平 聖吉 寄之 聖吉 池田 聖吉 明

金部 聖吉 明 聖吉 明

同松平 松平 聖吉 寄之 聖吉 田中 聖吉 明

同西尾 聖吉 聖吉 寄之

同前尾 聖吉 聖吉 寄之 聖吉 聖吉 明

古く 聖吉 聖吉 寄之

尾原 聖吉 聖吉 寄之

同 聖吉 聖吉 寄之

松平 聖吉 聖吉 寄之

聖吉 聖吉 寄之

同 聖吉 聖吉 寄之

古事新贊 入江島 今泉 前之甚

上州南 海防固備 想其

三〇 輝煌 想其

秀忠 公之法 法則之高 又操練 并之 意 難水

妻 聖德 皇太子 皇太子

海入

相別 古山 事 不 難 助 攻 別 出 意 矣 下 山 各 難

深 在 中 難 痛 老 且 但 馬 一 四 各 所 以 之 意 移 申

因 居 山 之 意 遂 後

九月 江戶 安 爲 神 宗 川 出 所

二日 蒼 庚 二日 土 酉 日 冒 二 瀆

有 洋 是 守 六日 壬 午 日 七日 中 泉

八日 白 圓 庚 九日 國 務 十日 契 回

十一日 法 剛 十二日 行 遠 各 十三日 後 年

十四日 利 在 板 中 思 陣

十五日 日 月 日 是 九

井 澤 第 一 補

中 山 第 一 補

山 廣 右 第 一 補

山 廣 右 第 一 補

山 廣 右 第 一 補

山 廣 右 第 一 補

松平中堅守

丹羽勘助

大原右京

松平忠房（三郎）

松平高房

松平右京（兼）

水野元信（兼）

渡辺右衛門（兼）

山本清房

村松甚兵衛

酒地甚兵衛

大塚元成

伊豆守 堀部元忠

伊豆守書

口入 酒地忠房

酒地清助

松平甚兵衛

柳本忠房

六角忠房（兼）

安房甚兵衛

水野忠房（兼）

藤原忠房

大原又市

牧田甚兵衛

山本新左衛門

横田甚兵衛（兼）

堀部甚兵衛

堀部甚兵衛

大原甚兵衛

大塚甚兵衛

酒地忠房

堀部甚兵衛

松平甚兵衛

松平甚兵衛

山中源五郎

安房甚兵衛

酒地忠房

鬼谷甚兵衛

六角源五郎

甲州信濃郡中津井藩
天保八年の御用

山本甚兵衛

中津甚兵衛

大原甚兵衛

大原甚兵衛

堀部甚兵衛

伊豆守書

大塚甚兵衛

大塚甚兵衛

山本甚兵衛

堀部甚兵衛

牧野甚馬允

平泉甚馬允

石方甚馬

芝原甚馬允

三木甚馬

海濱甚馬

五平大隆

松平甚馬

三山甚馬

内友河隆

大倉甚馬

土向甚馬

日下甚馬

北原甚馬

出友甚

舟之部甚

長井甚

金島内通

三上甚

内友外祝

相模甚

負甚

山内甚

所公甚

矢野甚

平康甚

内友金甚

川名甚

三上甚

相模甚

元内甚

三上甚

廣甚

長原甚

山内甚

園部甚

三上甚

柳原甚

田甚

金原甚

合人甚

所甚

甚

原田甚

甚

甚

坂原甚

三上甚

今年甚

阿利河

京東

阿利河

京東

阿利河

阿利河

京東

阿利河

阿利河

京東

阿利河

京東

阿利河

京東

阿利河

阿利河

京東

阿利河

阿利河

京東

阿利河

五部

板谷河家傳

三年庚

長江島村肥長

七部

以平野島傳

三月

海陽園傳

八部

以志共起慶

臨

以志共起慶

九部

以志共起慶

東海邊市

長岡書院

馬場家傳

馬場家傳

以志共起慶

山形家傳

山形家傳

以志共起慶

五村家傳

五村家傳

以志共起慶

五村家傳

五村家傳

以志共起慶

以志共起慶

同小江氣氣傳

五村家傳

六字世傳書

北東又布

山本刺魚

德同吳魚

物製世書

勝龍世書

協 梨

東山脚魚

深木世書

海山世書

古向德反

圓龍世書

活水神魚

巨 友世書

中宮河月

山城世書

界川界前

中宮世書

養丹世書

河里世書

秀志山世書

德同世書

友世書

天世書

法世書

中人每世書

普友世書

北唐山又七

物製

伊友在馬元

德海世書

善世書

物製

多向德反

德友世書

戶向七月

山林居世書

永昇世書

杜世書

品世書

國友外宛

二東九世書

品世書

新川世書

御人世書

國友世書

德部 中

山友世書

牧世書

海峽在道
如多之五馬

金鶴内通
二枚内通

久米海峽
大船中

長史書 五母衣

村瀬在馬也

永井監相

厚樹善信

山名之常也

之數重也

山名切通

徳友之見

徳部善信

光徳善信

海部善信

所之善

所之善

山内之善

海仁外苑

海松善信

久村泰善信

久米善信

久貝用儀

河野善信

中山助吉

水内善信

川内善信

柳宗善信

右内善信

安友善信

功之之善信

右内善信

此海峽在道方、海峽之徳拂、由是、至、海峽、功、徳、

此海峽在道方、海峽之徳拂、由是、至、海峽、功、徳、

山名善信

山名善信

金廣中寺思佛 莊浪江鏡 名聲在危忠改
去黃 松平丹陽寺名忠 古松樹之定成

肉食在馬田路 關平古松水尾

後河古松寺名忠寺同

松平河川寺定本
松平河川寺定本
松平河川寺定本

松平河川寺定本
松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

松平河川寺定本

跋

古夜山場

古海山

井澤湯野山

瑞石山

牧野山

中野山

古山場

肉皮山

古山場

松野山

古山

松野山

古山

古山

古山

松野山

松野山

松野山

松野山

古山

孤軍古馬切

中山古馬切

古馬古馬切

水書身人王凡

名 水書身人 名 德田 名 若重 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

名 若重 名 同 名 若重 名 同 名 若重

伊豆山行 古川集 平島卷五 伊豆山行 古川集
森島 与木志平 伊豆山行 古川集
津金院屋 志山掃部 伊豆山行 古川集
夏島志平 志山掃部

伊豆山行 中條卷

伊豆山行 伊豆山行 伊豆山行

伊豆山行 伊豆山行 伊豆山行

伊豆山行 中村市郎

伊豆山行 伊豆山行 伊豆山行

尾関清方 おつを清方

次内清方 清方と云ふ名

成安 成安

石田 石田

巨厚 巨厚

中人 中人

尾関清方 尾関清方

次内清方 次内清方

成安 成安

石田 石田

巨厚 巨厚

中人 中人

海人 海人

長谷川

大進守 大進守

中務 中務

唐傳典 唐傳典

尾関清方 尾関清方

南朝 南朝

二知 二知

多 多

能 能

ふ ふ

此 此

愛知県



1103266988